穂　学

令和４年度
広州日本人学校　学校便り
［No11］
令和４年９月１日（木）
発行責任者 校長　加藤康徳

<絵：校長>

「自ら学ぶ」とは？（学校教育目標について）

８月３０日（火）朝集会の校長講話で子ども達に話をした内容を記載します。

【今日は赤ちゃんについて話をします。赤ちゃんはすごいです。１歳ぐらいに立ち上がり歩くようになります。赤ちゃんにとってこれは大変なできごとです。それまでの生活とは違って、立ち上がって自由に歩くことができるようになるのです。そこから先の人生は歩く距離がより長くなるということです。より遠くへ行けるということです。だから、この「立ち上がって歩く」という行動は人生にとって世界観が劇的に変化する始まりと言うことになります。しかも、更にすごいことは、このとき赤ちゃんは誰から言われるでもなく自分で立ち上がって、歩こうとすることです。おそらく「自分で新しい世界を見てみたい」という「好奇心」のようなものがそうさせるのだと私は思います。ただ、このとき、いきなり歩き始める赤ちゃんはいません。必ず転ぶという失敗をしながら、自ら立ち上がるバランスを学び、そしてやがては力強く一歩を踏み出して歩くようになるのです。

ここで言えることはこの体育館にいるみなさんは、既に赤ちゃんの時に「誰から言われるまでもなく、自ら学び、自由に歩くことができるようになった。」ということです。

だから、赤ちゃんのときよりももっと賢くなっている今、「自ら学ぶ」ということができないはずがありません。だって、既に赤ちゃんの時にできているのだから。この朝集会の後、体育館を退場するときに赤ちゃんのようにこの場所でハイハイしている人はいないはずです。

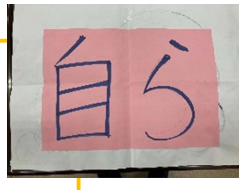
「自ら学ぶ」ということに失敗はつきものです。はじめはうまくいきません。でも、あなた達が「立って歩く」という人としての世界観を変える能力を得るときに何回も転んだように「自ら何かを学ぶときは上手くはいかない。」と思ってください。大切なのは、失敗から学ぶことです。そして、同じ失敗を繰り返さないことです。もう一度言います。みなさんは「転ぶ」という失敗から学んで今立って自由に歩くことができるのです。

今年から学校の教育目標のめざす子ども像（知・徳・体）それぞれの言葉の最初に「自ら」という言葉を付け加えました。教室にはこの「自ら」という言葉が必ずどこかにあるはずです。もう一度確認してみてください。そして、「自ら学ぶ」ということはどういうことなのかを自分自身で考えながらいろいろなことに挑戦してください。今日は、「自ら学ぶ」ということについてのお話でした。】

広州日本人学校教育目標（めざす子ども像）

「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」

- ○「知」の目標・・・「自ら考え、進んで学力の向上に取り組む子」
- ○「徳」の目標・・・「自らちがいを認め合い、共に生きていく子」
- ○「体」の目標・・・「自ら健康と安全に気を付け、たくましく生きていく子」



「教職員の顔写真を掲示しました」

＜学校経営のスローガン＞
「つながり」を「未来に実感」させる
広州日本人学校の創造

＜大切にする５つのつながり＞
①先生とのつながり
②授業とのつながり
③友だちとのつながり
④保護者・日本人社会とのつながり
⑤中国とのつながり

子ども達と教職員とのつながりを実感できるようにと、職員室に向かう 2 階の廊下に今年度の教職員の顔写真を掲示しました。※この写真は毎年更新します。

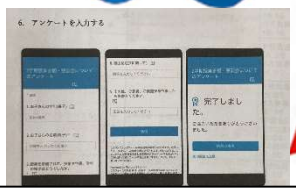
「公開研究授業を実施しました。」

＜中３年社会科(8/31)：金谷先生＞

単元
「個人の尊重と
日本国憲法」

＜小２年算数科(8/24)：手塚先生＞

単元
「計算のしかたを
くふうしよう」



２学期より集計業務を簡素化するためにアンケートは WEB 上のデータに記入して頂くことにしました。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。※詳細については本日（９月１日)、ロイロにて配信しております。

「避難訓練（引き渡し）を行いました。」

広州日本人学校では８月３０日（火）に「①非常時を想定し、児童生徒を安全に避難させ、確実に子どもを保護者のもとに帰す。②バス内の様子やバスルーの確認を行う。③バスルート担当とバストップ係の緊急時の対応の確認をする。④新しい児童生徒を含め、再度避難方法を確認する。」を目的に避難訓練（引き渡し）を実施しました。この日は全員で静かに素早く行動することができました。(本校では、子ども達自らが「自分の命を守る」という意識を高めるためにも、年間に９回の各種災害などを想定した避難訓練を実施しています。)

「２学期も PCR 検査のご協力をお願いいたします。」

中国の現地校は新年度が始まります。そのことに伴い広州市内の教育機関で PCR 検査が行われます。本校でも 9/1・9/2 の二日間に渡り全校児童生徒、及び教職員の一斉 PCR 検査を実施します。中国国内ではまだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まってきたとは言えません。状況によっては急に PCR 検査をお願いする場合があります。子ども達が安心して学校生活を送るためにも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。